

死の革命



シリーズ・十字架

あなたにとって「死」とは？

- まだまだ先のことで考えたこともない
- 不吉なことなので考えたくない
- 時々考えるが、あまりピンとこない
- 考えるたびに恐ろしくなる
- とても身近な存在
- 悪いイメージはないがまだ死ねない

あらゆる生あるものの目指すところは死である。
～フロイト～

- 確かにその通りだが、なぜ生きているものは必ず死ぬのだろうか？
- そもそも生命とは何だろうか？

死と太陽は直視することは
不可能である。

～ラ・ロシュフーコー～

- なぜ死を直視することができないのか？
- なぜ死は恐ろしいものなのか？

死ぬことはなんでもないが、
この世と別れるのが僕には
つらい。

～マルセル・パニョール～

- この世で幸せな人生を送った人の本音

私は生きているときに、死
以外のあらゆるものに対し
て備えをしていた。今、私
は死なねばならぬ。そして、
まだなんの備えもない。

～チエザーレ・ボルジャ～

- わたしはどうだろう？

私たちは死の心配によつて生を乱し、生の心配によつて死を乱している。
～モンテーニユ～

- 死への心配をへらすことはできるのか？

聖書の教え

- 「生命」とは神の霊である(創世記)
- 「死」とは神から離れたことによる「ガス欠」である
- 「人間にはただ一度死ぬことと、その後、後に裁きを受けることが定まっている」(ヘブライ9:27)
- 天国と地獄？

キリストによる死の革命

- 十字架による罪の完全な贖い
- 人間を生かして下さった神のもとへ帰る道を開かれた
- 「死は勝利にのみ込まれた。死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」（1コリント15:54-55）
- 死は**第二の人生の始まり**となった

死は人生の終末ではない。
生涯の完成である。
～マルチン・ルター～